

定例会議の開催状況

第1 開催日時

令和8年1月15日（木） 午後0時50分～午後5時40分

第2 開催場所

公安委員会室

第3 出席者

1 公安委員会

上枝委員長、岡委員、大石委員

2 警察本部

本部長、警務部長、生活安全部長、刑事部長、交通部長、警備部長、
首席監察官、情報通信部長、学校長、総務課長

第4 委員説示

委員から、「今年最初の定例会議ということで、公安委員会委員長として、2点お話をさせていただく。1点目は、県警察として、基本を徹底して、計画を立てた上でそれを地道にやり尽くしていただきたい。このような姿勢が、県警察の運営重点である「県民の期待と信頼に応える力強い警察」につながっていくと思う。もう1点は、警視庁公安部による外国為替及び外国貿易法違反事件の捜査を受け、先月、本部長名で発出された例規等を拝見した。本事案は当県においても発生し得るものと重く受け止め、組織を挙げて再発防止策を講じていく必要があり、県警察としては、「ルール化の推進」、「多角的視点の確保」、更には、それを受け入れる謙虚さや柔軟性が必要だということが書かれていた。このような姿勢は、組織が社会の変化を的確に捉える上で必要であり、我々委員も、引き続き、警察業務をよく理解し、必要があるときには意見を述べるなど、県民の期待に沿えるような公安委員会としての活動を行っていきたいと考えている」旨の発言があった。

第5 議題事項

警察官の特別派遣について

県警察から、福島県公安委員会及び沖縄県公安委員会からの援助の要求に係る警察官の特別派遣について説明があり、審議の上、了承した。

委員から、「沖縄県公安委員会からの援助の要求は、国境離島警戒警備

ということで厳しい勤務環境が予想される。派遣される職員は、健康には留意し、しっかりと任務を全うしていただきたい」旨の発言があった。

第6 報告事項

1 11月県議会定例会の開催状況について

県警察から、11月県議会定例会では、代表質問において、「急増する特殊詐欺等の被害」及び「安全・安心な地域社会の実現」について質疑答弁が行われ、公安委員会関係議案「令和7年度香川県一般会計補正予算議案」が、原案どおり可決された旨の報告があった。

委員から、「県議会議員から、「地域コミュニティの希薄化が進む中で警察活動の在り方」の質疑があったが、私が暮らす地域でも、昔に比べて地域の連帯感が薄くなっていると感じている。警察だけで対策を講じることは難しいかもしれないが、地域コミュニティは犯罪被害を防止するための大切な機能だと思うので、是非、対策をお願いしたい」、「勤務環境は非常に大事なことなので、補正予算で、警察施設の老朽化等に伴う修繕について予算措置ができたことは良かったと思う」旨の発言があった。

2 初任科第95期（長期課程）卒業式の挙行について

県警察から、初任科第95期（長期課程）16人は、県警察学校における10か月間の初任教養を修了し、本年1月27日に卒業する。卒業後は、警察署に配属され、採用時教養の一環として、職場実習を行う旨の報告があった。

委員から、「警察学校では、警察官として必要な基本的な知識の習得や体力の向上に努めてきたと思うが、一線署に配属されるこれからが本当のスタートラインだと思う。若手の育成には、先輩警察官等の指導が非常に重要だと思うので、しっかりと愛情のある指導をお願いしたい」、「卒業後、各警察署に配属されるということなので、同期生同士で切磋琢磨して、たくさんの経験を積んでもらいたい」、「警察学校に入学した時から、誰一人辞めることなく無事に卒業を迎えるということは、各学生の個性に合わせた指導ができていたのだと思った。また、卒業前には、保護者等を対象とした授業参観を行うとのことであるが非常に良い試みだと思う。是非、所期の目的が達成されることを期待している」旨の発言があった。

3 令和7年中の交通事故の発生状況について

県警察から、令和7年中の交通事故死者数は5年連続で減少し、統計

資料が残る昭和 23 年以降で最少の 20 人（前年比－11 人）となった。また、全死者に占める高齢者の割合が約 7 割を占めたほか、交差点の割合が 6 割を占めた旨の報告があった。

委員から、「令和 7 年中の交通事故死者数が 20 人となったことは、これまで県警察が交通指導取締り、広報啓発活動、道路環境の整備等の様々な取組を地道に行ってきた成果の表れである。ただ、目標は交通事故死者数ゼロだと思うので、目標達成に向けて、新たな施策も取り入れるなど交通事故抑止対策を講じていただきたい。なお、今年の交通事故死者数をみると、高齢者が被害に遭う割合が高い。やはり若者に比べて高齢者は判断力や注意力のほか身体機能も低下するので、その辺りが交通事故抑止のポイントになってくるのではないかと思う」、「毎週、県警察から免許処分の意見の聴取等の報告を受けていると、飲酒運転による運転免許証の取消しが多いように感じている。令和 8 年は、これまで以上に、飲酒運転の取締りにも力を入れていただきたい」、「令和 7 年中の交通事故の発生件数、死者数及び負傷者数は減少しているが、重傷者数だけが増加している。これについては、どのように分析しているのか」旨の発言があり、県警察から、「令和 7 年中の交通事故の発生状況を分析したところ、やはり交差点での「車両と歩行者、車両と自転車」の交通事故が多い。このように車両と歩行者等の事故が発生すると、死亡事故につながる確率も上がるが、辛うじて命を取り留めたことで重傷になっていると考えられる。また、医療技術が発展したことで、以前ならお亡くなりになるケースでも、何とか命を取り留めている場合も考えられる」旨の説明があった。

第 7 決裁

- 1 公安委員会定例会議会議録の作成及び公表について
(令和 7 年 11 月 27 日開催分)
- 2 臨時会議（電話会議）の開催状況について
(令和 8 年 1 月 5 日開催分)
- 3 公安委員会宛て苦情受理報告について
- 4 香川県公安委員会の活動状況（令和 7 年下半期）について（申・通報）
- 5 香川県公安委員会ホームページにおける活動状況（令和 7 年下半期）の更新について

第 8 その他

- 1 警察署協議会への陪席について

委員から、令和7年12月23日開催の令和7年度第3回高松北警察署協議会に陪席した所感として、「今回は、県機動隊の視察が予定されていたことから、署協議会は普段に比べてコンパクトに開催された。その中で、直島町に居住する協議会委員から、直島町内における自転車マナーや交通ルールに関する質疑があり、県警察として取り得る対応等について、しっかり説明を行っていた。また、運転免許更新時の高齢者講習では、高齢者の使用率が高い軽自動車を導入してほしいとの要望があり、講習を実施する自動車学校側に県民の声として伝達するとの説明があった」旨の発言があった。

また、協議会終了後に機動隊を視察した所感として、「今回の視察を通じて、日常的に警察官が柔剣道や警備実施等の厳しい訓練を行っていることや災害現場等に派遣される前には様々な事を想定して準備を行っていることが分かった。また、機動隊の隊員が各種車両や装備資機材について丁寧な説明を行ってくれたお陰で、署協議会委員にとっても機動隊の業務を知る良い視察になったのではないかと思った」旨の発言があった。

2 衆議院議員総選挙の見込みについて

県警察から、「報道によると、衆議院の解散総選挙がほぼ確実ではないかと言われている。まだ正式発表は行われていないが、選挙となれば、県警察として、「選挙違反の取締り」と「要人等の警護」をしっかりと行っていきたいと考えている」旨の報告があった。

3 高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認に伴う対応について

県警察から、東かがわ市の採卵鶏農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認され、「香川県鳥インフルエンザ対策本部会議」が開催されたことを受け、県警察においては、県の行う防疫措置への支援を実施した旨の報告があった。

委員から、「鳥インフルエンザの疑似患畜の疑いが認められたことから、今後の感染拡大を防止するための対応や、他の養鶏場での感染状況の確認が行われていることが分かった」旨の発言があった。

4 香川県公安委員会の権限に属する事務の専決等に関する規則の一部改正について

県警察から、ストーカー行為等の規制等に関する法律の一部改正に伴い、香川県公安委員会の権限に属する事務の専決等に関する規則の一部

を改正する旨の説明があり、審議の上、了承した。

5 「110番の日」における広報啓発活動について

県警察から、1月10日（土）の「110番の日」に、香川県立高松東高等学校の書道部員が、高松丸亀町壺番街前ドーム広場において書道パフォーマンスを実演した結果について報告があった。

6 運転免許の取消し等の審議について

県警察から、運転免許の取消し等に係る意見の聴取等について報告があり、審議の上、処分内容を決定した。